



学校だより

平成26年 4月 30日

練馬区立田柄第二小学校

校長 谷田 弘子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-kyo.ed.jp> e-mail info@tagara2-e.nerima-kyo.ed.jp

教育目標: 元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.430

心を鍛える

校長 谷田 弘子

田柄通りのハナミズキやツツジの花が美しく咲き乱れ、自転車で通るのがとても楽しみです。今日このごろです。

平成26年度も1ヶ月が経ちました。入学当初は不安気な様子が見られた1年生も、学校生活にも慣れ、元気に活動する姿が見られるようになりました。他の学年もこの1ヶ月、学年が上がったという意識をもち、頑張っている様子がいろいろな場面で見られました。

特に6年生は、最高学年となり、1年生のお世話をよくしてくれています。廊下であいさつする児童が増えたのも、嬉しいことです。子供たちのこのやる気を、ぜひ持続させていきたいと思っています。

先週、3年生と4年生の遠足がありました。3年生は飯能の天覧山へ、4年生は東松山の森林公園へ行きました。どちらの遠足も大変長く電車に乗るので、担任は車内での過ごし方に注意を払っていました。行きの電車の中では、ちょっと気になる様子が見られましたが、帰りの電車の中では、児童は周りに迷惑にならないように過ごすことができましたし、お年寄りに席を譲る姿も見ることができました。みんなで注意し合って周りに迷惑をかけないようにがんばっていました。さすが、中学年だなと思いました。天候にも恵まれ、大変有意義な遠足でした。

先日、あるレストランで食事をしました。隣の席には、4歳ぐらいの女の子とその両親と祖母という家族がいました。女の子は、幼児モデルらしく、撮影の帰りで疲れているということでした。そのためか、「ゲームをやりたい。」と騒ぎ始めました。母親は、父親に「駐車場の車に行ってゲームを取って来て

欲しい。」と頼みましたが、父親は、女の子に「もうすぐ注文した食事が届くから我慢しよう。」と話しました。すると、女の子は、ますます大きな声で泣き始めました。母親と祖母は、父親を責め、父親は仕方なくそれを取りに行きました。みなさんだったらどうしますか？私は、この女の子がかわいそうになりました。我慢や努力をする必要が無いのです。心を鍛えることができないまま大きくなるのではないのでしょうか。

教育の目標は何かと聞かれたら、私は迷わず『自立』と答えます。大人は、子供を育て、人間として自立させることが使命だと思うからです。自立するためには、「何かをやりたい。」という思い(目標)をもち、自分で考え、判断し、努力していくことが必要です。「何かをやりたい。」という思いは、やる気に繋がり、大きな力を発揮し、それが自信となります。その過程での子供の我慢や努力を時には厳しく、時には温かく支えるのが大人の使命だと思います。

学校と家庭とが協力をして、心を鍛え、「自立した子供」になることができるように努力をしていきたいと思っています。

